

# うれしの 議会だより

発行／嬉野市議会 議長 山口 要

編集／議会広報編集特別委員会 〒849-1411

佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL0954-6619127 FAX0954-6613119

唐泉山の桜並木

厳しさを増す19年度予算 3P

「うれしの茶」を全国へ 5P

NHKのど自慢がやってくる 6P

一般質問に18人 14P

議会は動く・委員会レポート 26P

第5号 3月定例議会

平成19年4月26日発行

## 人事

教育委員長



池田修前教育長の任期満了にともない、2月17日付けで新教育長として杉崎士郎氏が就任されました。

杉崎新教育長は、昭和19年5月12日生、嬉野町大字下宿在住で、昭和43年4月から平成17年3月までの37年間教職を務めてこられました。

そのうち、佐賀県教育庁での勤務経験も通算10年間あり、行政経験も豊富です。  
教育委員には平成18年2月17日から就任しております。

農業委員

議会から農業委員として選出されておりました深村議員が辞職されましたので、これにともない川原議員が議会から3月27日付けで農業委員として選任されました。  
任期は平成21年7月19日です。

深村議員辞職

この度、深村議員は一人身上の都合で議員の辞職願いが1月24日付けで提出されました。

これを受け、2月5日付けで辞職が許可され、3月議会初日に議長より報告がありました。  
この事により欠員が生じる訳ですが、これにともなう補欠選挙はおこなわれません。

### 議長交際費 平成19年1月1日～3月31日現在 (単位：円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	1	5,000
供花	0	0
御祝	1	5,000
会費	0	0
その他	9	16,690
計	11	26,690

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費
- ・その他の内訳
  - ※他自治体からの視察時への支出 (茶菓子代) 5団体来庁 9,640
  - ※他自治体への視察研修 (土産代) 3団体へ 6,000
  - ※新聞広告料 1件 1,050

### 蘇えれ！ 楠風館大楠



現在、みゆき公園にて養生中、二元気な姿で二元の地にもどることを祈ります。

樹齢300年！ 瀬頭本家の繁栄と共に歴史を刻んできた守樹でありました。

楠風館の名称は「楠」の如く繁茂を祈念し公募で定められました。その楠が今、危篤状態にありその原因は、行政の管理不備にあります。

編・集・後・記

福岡県赤池町に次ぐ自治体の破産は夕張市でした。

今日までの行政運営は、国・県の交付金と市民税で、市民へのサービスがおこなわれてまいりました。

今、国が目指す地方分権社会は、「自らの街は自ら手で」三位一体の改革は地方にとって厳しさを加速しています。

市の財政も厳しく、特別交付金に甘んじて無策無謀に陥ると、再建自治体となりかねません。

企業誘致活動は、寝食を忘れるほどの努力が求められます。

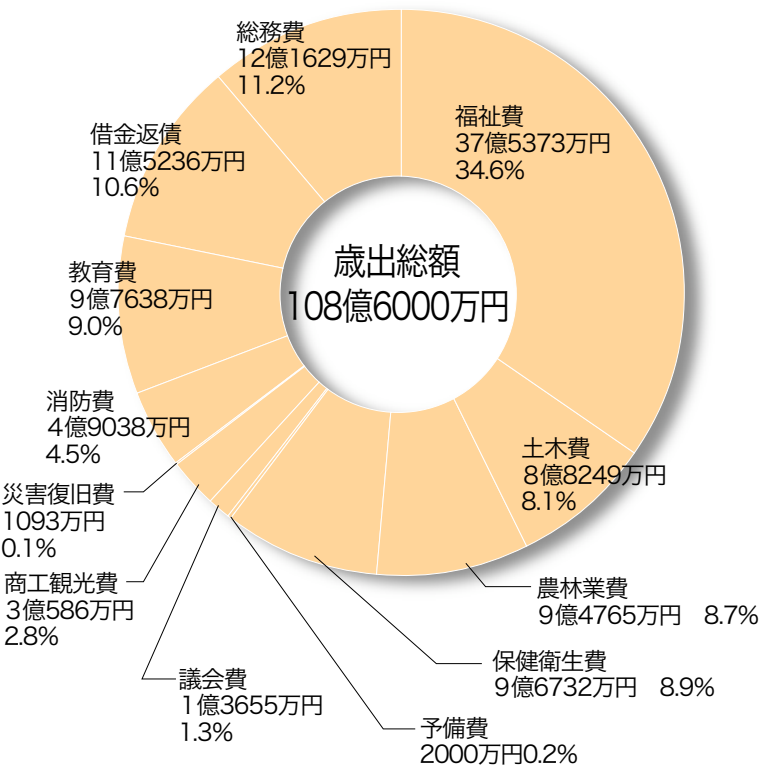
人口3万人を割り、もう後戻りはできません。

### 議会広報編集委員会

- 委員長 園田 浩之
- 副委員長 平野 昭義
- 委員 太田 重喜
- 川原 等
- 副島 孝裕
- 小田 寛之



### 平成19年度 歳出内訳



# 総経費破綻

## 3月 定例会

### を防げ

# 市民ひとりの借金57万円

少しでも市民の皆さんの負担を少なくするため、合併した嬉野市ですが、財政の厳しさは年々増すばかりです。

平成19年度の国からの交付金は、18年度当初と比較した場合、7000万円の減少となります。また、たばこ税が、事業所の都合により、1億5286万円の減少となります。

市民税（個人）の所得割り率は、18年度について1年間の据え置きでしたが、19年度は4・48割を本来の所得割り率6割にするようになりました。これにともない、2億569万円の増収になります。

財源不足を補うために市は、毎年借金をしていますが、19年度は5億9150万円の予定です。

18年度の一般会計決算見込みの累積借金総額は、100億1898万円となり、市民一人当たりの借金額は約33万3900円になります。

また、農業集落排水事業など4つの特別会計の借金総額は、73億4319万円になり、一般会計と合わせた市民一人当たりの借金額は、約57万8000円になります。

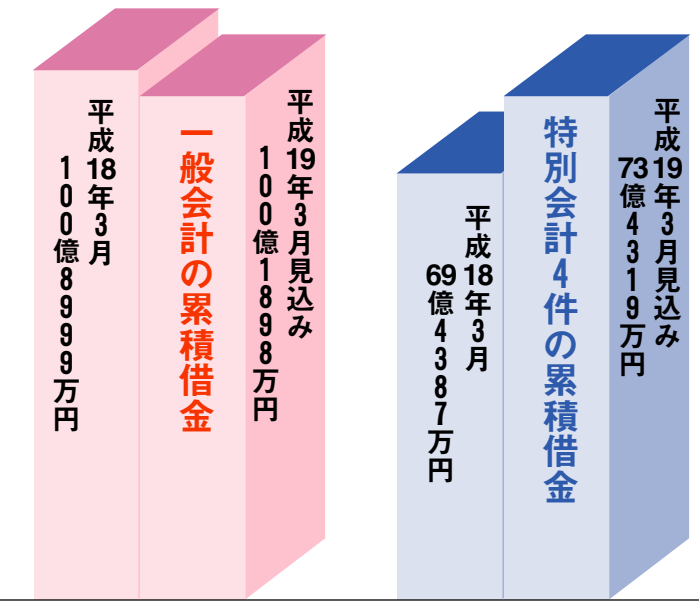
平成19年第1回定例会が、3月6日に召集され18日間の日程で開催されました。

19年度一般会計予算をはじめ、国民健康保険費など5つの特別会計、18年度の補正予算、条例の一部改正など、議案が提案され慎重な審議の結果、賛成多数で可決されました。（賛否表P11）

意見書2件は採択（P10）陳情2件は現地調査をおこない審議されました。（P12）

一般質問は18名が、4日間にわたり市政を質しました。

### 嬉野市の借金



## 何をどう削減するか

### 目標・5年後の財政効果25億円

平成19年度の一般会計当初予算額は、108億6000万円です。

国の三位一体改革が進み、市財政の収入が毎年減少しているなか、施設建設事業や借金返済、財源確保のため、積立金や基金（貯金）を7億9247万円、取り崩す予定です。支出で大きな項目は福祉費で、全体予算額の34・6割（37億5373万円）を占めています。その他の総務費や衛生費、農林水産費、土木費、人件費、市道・農道整備河川・公園整備など11億1579万円（10.3%）を占めています。

教育費などは、約8割（8億8000万円）から11割（12億1000万円）となつていきます。財政状況の厳しいなか、各種補助金の一律5割カットや光熱水費などの需用費の切り詰めなど、19年度においても財政削減に向けた取り組みがおこなわれます。

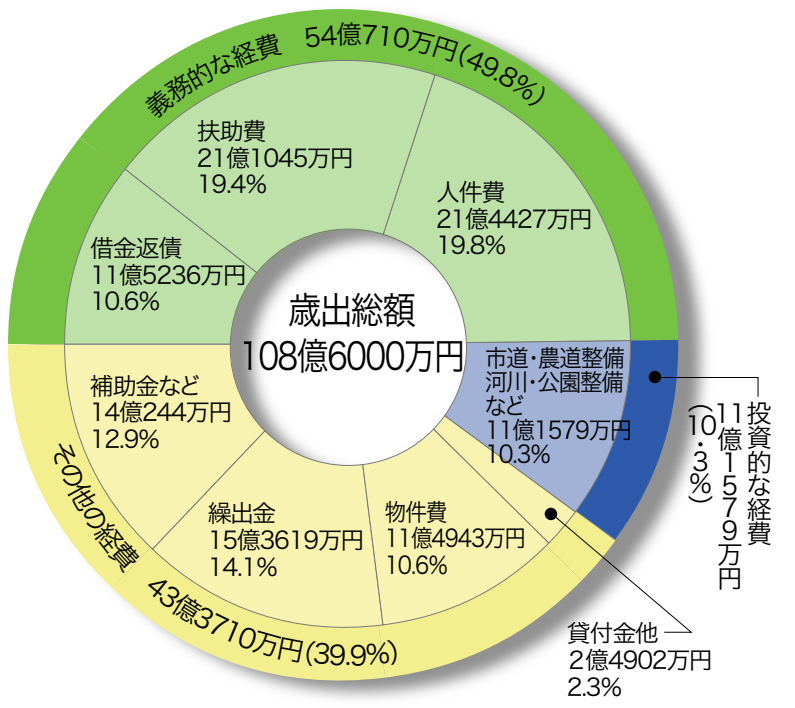
しかし、職員の人員不足を補うためや、1年後の嘱託職員制度廃止のために、派遣会社からの人材や臨時職員などが増加の傾向にあります。

財政の健全化を図るためには人件費の抑制が必要ですが、責任ある職務をおこなうためには、正職員の専門化に向けた取り組みが必要です。

このままの状態を放置すれば、財政破綻は目の前に迫ります。「何が必要で何を削減するか」。

嬉野市は行財政改革のプランとして、5年後に25億円の財政効果を目指しています。

市民のみなさんの理解を得られる説明をおこなうながら、実行することが必要となります。





# 効率的な運営でいきるか

## 議案審議の内容を解説

### 市民・職員がテレビでPR

今回の「情報発信事業」は、市役所情報発信室から毎月2回、主な行事やイベントなどを市民及び、職員がケーブルテレビを活用して情報提供をおこなうものです。

市の行政情報や、地域・各種団体の催し・情報などは、市報やケーブルテレビによる文字放送、市のホームページの提供などでおこなわれていますが、テレビを利用した情報提供が一番親しみやすく、また万遍なく提供できる手段であることから、今回整備に着手することになりました。

市民参加の情報提供をおこなうことにより、市民の行政への参加意識がよりいっそう高められることも

に、市職員が自分の仕事のことを、分かりやすく伝えるために、その内容をしっかり把握することが求められ、職員の意識改革が更に必要となります。

この事業を通して、市民と行政の「協働意識」が深まり、今後の地域コミュニティ活動の向上が図られると考えます。



▲市役所内にスタジオ設置（写真はテレビ九州内のスタジオ）

## 「うれしの茶」を全国へ

長い歴史と伝統を支えられてきた「うれしの茶」は、香りがよく、旨みのあるお茶として好まれてきました。最近では、この特徴が薄れつつあることや、八女茶をはじめとする他産地のお茶と区別が十分でないことから、生産・販売に大変苦戦をしています。

また、生産者の高齢化・後継者不足が深刻で、茶園の利用集積が容易でないこともあり、遊休茶園の増加が懸念され、今後の担い手の育成・確保が重要な課題となっています。

近年、ペットボトル茶の需要が拡大する反面、緑茶（リーフ茶）の需要が減少し、高級茶の売れ行きが伸び悩んでおり、更なる産地の銘柄確立を目指していくことが、最重要課題となっています。

今後、「うれしの茶」のブランド確立と、「嬉野」という産地を守っていくためには、全国茶品評会において農林水産大臣賞及び



▲茶業研修センター予定地（上岩屋地区）

産地賞を獲得すると同時に、「うれしの茶」の特徴を生かした販売促進の強化も必要です。そのため、以前から要望されていた品評会用茶工場を含めた茶の生産・加工研修施設の建設が必要不可欠でした。

今年度、「強い農業、つくり交付金事業」の制度を活用して、茶研修施設を整備することになりました。生産・加工技術の高位平準化を推進し、高品質の「うれしの茶」としての地位を確立され、また地元温泉旅館との連携によって、新たな需要の創出や、用途に応じた品種・製茶法の検討をおこなうなどとして、より魅力ある茶業経営を確立し、担い手の育成・確保ができることを期待します。

## 嬉野総合支所・窓口でパスポート交付



▲支所窓口でパスポート交付

海外旅行などに必要なパスポート（旅券）の発給事務は、従来県庁及び武雄総合庁舎などでおこなわれていましたが、権限委譲によって市町村でも発給事務手続きができるようになりました。市民の利便性とサービスの向上を図る目的で、総合支所の窓口で、パスポートの発給事務ができます。原則として土・日・祝祭日を除いた、実日数6日以内に交付予定です。平成19年7月1日から交付できます。

## さあ！学校へ行ってみよう！



▲元気な登校風景

嬉野市では、これまでも学校に教育相談員を配置し、不登校児童生徒への訪問指導を行ってきましたが、その結果として、不登校児童生徒の学校復帰のケースが数例見られるようになりました。平成19年度から、新たに「適応指導教室」を嬉野市に1ヶ所設置します。武雄市と鹿島市では以前から運営されていて、嬉野市での設置が望まれています。適応指導教室では、心理的、情緒的理由により登校できない児童生徒に対して、個別あるいは小集団での相談指導・学習指導をおこない、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰を援助していきます。また、家庭環境の問題で不登校になっていくケースも見られます。保護者にとつて子どもが不登校であることで悩み、将来に対して不安を抱えています。保護者の意識の変容により、学校復帰につながるケースもあり、適応教室指導員が、保護者への対応にも力を入れる必要があります。個々の状況に応じた、より一層の、きめ細かな指導が望まれます。



# 新年度 当初予算を審議

## 若者が残れるように

嬉野市への企業誘致を図るため企業訪問の専門員を配置します。

今年2月28日現在での嬉野市の人口は3万31名です。高校卒業しての県外就職や大学進学などを考えると、今年4月には人口3万人を切ると思われます。

本市においても少子高齢化の波がもろに押し寄せてきています。

少子化を防ぐ重要な施策として、企業誘致と地元産業の育成があります。

今回、264万3千円を計上し、誘致の営業強化を図るために専門員を1名配置します。

福岡、長崎県を中心に企業訪問をおこなうとともに、県内および市内進出企業への訪問をおこない関連のある企業に対して誘致活動

を展開します。

嬉野市が発展するために、この事業が成功しなければなりません。

県内どこ地域でも企業誘致を進めています。

その中で生き残るために

は、嬉野市ならではのプランを企業に提案しなければ道は開けないと思います。

子ども達のためにも、嬉野市発展のためにも強力な努力を望みます。



▲若い人が働く進出企業

## NHKのど自慢がやってくる



▲平成12年の「のど自慢大会」

嬉野市の市制施行1周年を祝う記念事業として、9月23日嬉野市体育館でNHKのど自慢大会が開催されます。

日本はもとより世界に発信する電波に乗って、嬉野市の温泉・産業・農作物を知ってもらおう最高のイベントです。

平成12年2月6日に嬉野町の町制施行70周年を記念してNHKのど自慢大会が開催され7年ぶりとなります。

前回の出場申込は約700人、観覧希望者は約5000人の方から応募があったとの事です。このことから、今回のイベントでは、市内全域に活力が生まれ、市民の活性化と嬉野市観光振興に計り知れない波及効果があるものと期待されます。

なお、観覧者は約1500人程度と思われるので、希望の方たちは明暗を分けるでしょう。

## 「うれしの産」はうまかバイ



▲地元のおいしいイチゴを学校給食へ（吉田地区）

学校給食の食材料費を一部負担し、子どもたちに安全な地元産の農産物を提供し、地元では何を生産しているのかの理解と需要の拡大を図るため200万円予算計上しました。

主な地元の農産物は、茶・米・ブローラー・イチゴ・小麦・肉用牛・生乳・キヌーリ・小ネギなどです。

食の安全は誰もが高い関心をもっています。問題になったBSE牛肉・輸入食材の農薬残留問題などを考えると、地元で生産される食材が最も安心できます。

地元の生産者の顔の見える農産物で、安心して子どもたちに提供できます。

できれば、全ての食材を地元産で調理できればいいのですが、給食センターの要求に届けられる単価の設定や数量の確保に問題があると思われま

す。安全で安心な安定した食材の提供ができる体制作りと、農業生産者の組織化をおこない、近い将来、子どもたちに全ての食材を提供できるよう望みます。

## 耐震診断は

## 平成20年で完了

昭和44に建てられ築37年を経過している塩田中学校が、耐震診断を実施し、3月末には結果報告の予定でしたが、県内公共建物の耐震診断が県の判定委員会に集中しており5月末頃になる予定です。

県内の耐震診断実施状況は全国で46位と遅れていますが、新年度予算で五町田小・久間小学校舎と吉田中学校体育館を早期に実施します。

平成20年度で、残りの塩田小、大草野小、大野原小・中学校舎を実施し耐震診断は完了する予定です。耐震診断の結果によっては補強で対応できるか、改築で造り直すかになると思われま

す。子どもたちが安全な校舎で安心して勉学に励むことができるよう、また、災害時の避難場所として



▲耐震診断を待つ久間小学校

の機能充実を図るためにも、しっかりとした年次計画をたて、優先的な整備が必要です。



# 18年度 一般会計総額 112億3886万円



▲活躍が期待される公用車

## 市役所の 機動性を充実

現在、公用車は本庁、支所合わせて68台所有していますが、本庁と支所間の連絡や調整業務が頻繁で、公用車が不足の状況です。今回、  
 軽乗用自動車—6台  
 商用バン—1台  
 ワゴン車—1台  
 の計8台を新規に1290万円の予算以内で購入します。

公用車は総務課が管理する集中管理車と各課が管理する業務管理車の2種類に属します。新規購入される8台は、集中管理車として使用される予定です。公用車の使用については、環境問題や経費削減などを考慮しながら、大切に使用されることを望みます。

# 3月補正予算



▲明るい街灯で安心な夜道

## 街灯設置で 夜道も安心

市内には防犯灯の未設置箇所が多くあり、夜道の歩行が不安でした。今回、両町の融和を図ることを目的とした国からの合併交付金の一部として、防犯灯設置費が1970万円計上されました。設置箇所や内容については、4月12日に行政囑託委員会を開催し、意見を聞きながら5月中旬頃をめどに設置箇所を決定される予定です。一部では青色灯が設置され、防犯に向けた新たな取り組みをおこなってまいります。ただ、各地区の面積や人口密度など、大きな違いがあり、各地区の防犯灯の設置数については、慎重に対応されることが必要です。

## 消防団の服装 一新



▲従来の活動服

▲一新された活動服

新市の誕生にともない、嬉野市消防団が発足して1年が経過し、順調な運営がなされています。今回、消防団の服装が、合併を期に一新されます。従来、濃紺の活動服を着用していましたが、新しく明るいブルーの活動服に変わります。アポロキャップと併せて躍動的な服装になり、市民の生命・身体・財産を災害からまもり、市民の安全・安心を確保するため、なお一層の活躍を期待します。新年度の消防団入退団式において、新入団員がこの真新しい活動服を着用して出動します。なお今年度中に、全部の団員に新しい活動服が整備されます。

## 水路や公道の個人所有物を調査



▲公有水面上に架けられた個人用の橋

合併支援事業（嬉野市町村合併推進体制整備費補助金）を活用し法定外公共物占有物件の調査を行います。対象は市内全域 ※126・51平方キロメートルの現況調査 ※地図情報システム作成 ※台帳作成

法定外公共物占有物件とは 公有水面上や公道の地下などに、橋や管路などが設置また、伏設してある物件をいう。 この調査の目的と理由は、物件の把握と公平性を図るためである。



# 意見書 地域の声を国へ!!

森林・林業基本計画と地球温暖化防止対策の  
具体化に向けた政策の確立を求める

全国林野関連労働組合・九州地方支部  
執行委員長 築川 伸一

## 採択されました

地球温暖化が世界的規模で  
危惧される中、その防止対策  
における森林の果たす役割は  
極めて重要な位置づけとなっ  
ている。

森林は、森林資源の供給  
生物多様性の維持、地球環境の  
保全など多面的機能を有して  
いる。

しかし、違法伐採などによ  
り、開発途上地域の熱帯林を  
中心に世界の森林の減少が続  
いている。

また、我が国においては深  
刻な林業不振が今なお続いて  
おり、その一因に輸入材の二  
割を占めるといわれる違法伐  
採された外国産木材である。

この量は国産材の量に匹敵  
するものであり、国内の林業  
経営にも壊滅的な打撃を与え  
ている。

また地球温暖化防止対策の  
一環である森林整備の推進を

著しく妨げるものとなってい  
る。

我が国においては「違法伐  
採された木材は使用しな  
い」という基本的な考え方  
に基づく政府調達の実施や、  
違法伐採木材の輸出入規制  
に関する国際的な取組・協  
力など、違法伐採問題への  
対応をさらに強化されるよ  
う強く要請する。

佐賀県嬉野市議会  
議長 山口要

衆議院議長 河野洋平様

参議院議長 扇 千景様

内閣総理大臣 安倍晋三様

外務大臣 麻生太郎様

農林水産大臣 松岡利勝様

経済産業大臣 甘利 明様

環境大臣 若林正俊様

「人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を  
求める市議会での意見書採択について

部落解放・人権政策確立要求佐賀県実行委員会  
会長 外村 健一

## 採択されました

我が国においては、日本  
国憲法のもと、すべての国  
民は基本的人権の享有を妨  
げられず、法のもとに平等  
とされている。

しかしながら、ハンセン  
病回復者に対する宿泊拒否  
問題、犯罪被害者やその親  
族などに対するプライバシー  
の侵害、また地区を特定  
して誹謗中傷をインターネット  
上で繰り返すなどの人  
権侵害事案が生起している  
状況である。

政府におかれては、人権  
擁護推進審議会の答申及び  
国連で採択された国内機構  
の地位に関する原則、いわ  
ゆるパリ原則を踏まえ、独  
立性、迅速性、専門性を備  
えた実効性のある新たな人  
権委員会の設置。

人権擁護委員制度につい  
ては効果的な人権擁護の観

点から、国、地方公共団体  
その他関係団体などと緊密  
な連携を図り、人権救済の  
積極的推進を期すことなど  
を内容とした「人権侵害の  
救済に関する法律」を早期  
に制定されるよう強く要請  
するものである。

佐賀県嬉野市議会  
議長 山口要

衆議院議長 河野洋平様

参議院議長 扇 千景様

内閣総理大臣 安倍晋三様

総務大臣 菅 義偉様

法務大臣 長勢甚遠様

## 賛否表

番号	賛否																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	20	21	
副市長の定数を定める条例について	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18年度一般会計補正予算(第8号)	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19年度一般会計予算	可決	15:5	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19年度農業集落排水特別会計予算	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19年度公共下水道事業費特別会計予算	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19年度第七土地区画整理事業費特別会計予算	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19年度第八土地区画整理事業費特別会計予算	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19年度水道事業会計予算	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 欠は欠席



▲100年木を目指し育林中の市有林



# みなさんの 声 を議会へ

## 市道の安全確保 諸津（下野〜南大草野）線

●陳情者

下野区長 山下 昇  
他5名

●審査意見

（採択）

車道も狭い上、大雨の度に落石が発生し、以前から非常に危険性の高い道路であります。  
災害防止対策を切に要望いたします。

願意は妥当である。現地はいつ事故が起きてもおかしくない状態であり、早急に安全対策を講じるとともに、工事については県とも協議し計画的に進めるよう所管課に申し入れる。  
産業建設委員会

# 陳情



▲狭くて危ない諸津線

## 五町田小学校 施設設備に関する要望

●陳情者

PTA会長 深村 正紹

●審査意見

（採択）

◎運動場の全面改修  
◎校舎屋根「ハト」の糞対策  
◎教室の照明不足の改良  
以上3件の施設・設備の改修を要望します。

願意は妥当である。早急な対応が必要であると思われるので所管課に申し入れる。  
文教厚生委員会



▲なかなか進まない学校設備（五町田小学校）

# 「ひとにやさしいまち」

## を宣言する決議

嬉野温泉は古より、人の病を癒すとして知られ、塩田津も近隣の物流の拠点として荷揚げの音が響き、ひとと人のふれあいのなかで栄えてきました。湯治や商いを通して培った真心のこもったもてなしの精神は、いまでも綿として流れ続けています。

私たちは、嬉野市を訪れるすべてのひとが、風景・人情・歴史に触れ親しみ、街角の散策や観光施設において安心感と心のゆとりを感じることが

### 決議

できるまちづくりに努めます。  
すべての人に向けた意匠（ユニバーサルデザイン）の合理性を加味した、だれもがあたりまえに住みよく、楽しい嬉野市を実現するため、嬉野市議会は、ここに「ひとにやさしいまち」を宣言し、決議する。



▲日本一のバリアフリーの街をめざして

次頁から

# 一般質問

お茶の間で議会を

時間：質問当日の午後7時～  
質問日時については議会事務局におたずねください。  
(0954-66-9127)



### 問 税金の前納奨励金制度は 今後どうする

副島 敏之議員

### 答 2年後廃止



ている。

嬉野市においては、これからの奨励金存続でいけるのか。

**市長** 税金については、原則自主納付が原則である。

**副島** 県内の市町で前納奨励金の廃止が相次いでおり、唐津市、鹿島市はすでに実施している。

佐賀市が廃止に踏み切ると、追従する市町が相次ぎ、新年度に廃止する基山町を含めると、約半数の11市町が制度を止める事になっている。

理由について、財政難に伴う経費節減などをあげており、源泉徴収の給与所得者には適用されないという不公平感も指摘されており、すでに廃止した市町の担当者は、廃止後も納税率に大きな変化はないとみ

### 問 社会文化体育館建設場所は 市庁舎近くに

平野 昭義 議員

### 答 市民の意見を聞き適切に処理する



**平野** 塩田町の長年の懸案事項であった、社会文化体育館の建設が合併特例債を活用して協議が進められている。

また、旧長崎街道宿場である街並みは、現在文化庁の補助を受け西岡家を始め建造物の保存修理

が行われている。

古い町並みの「宝」の再発掘であり、浦田川の再生と共に期待される。

社会文化体育館建設の場所については、この宝の遺産との相乗効果と利便性の上から町民の大半の方々は、市庁舎近くを望んでおられる。

多くの来客を嬉野温泉で癒していただくことは、市の発展に期待できると考えるが。

**市長** 塩田町社会文化体育館の建設については、リーディング事業委員会が進められている。

伝建事業効果と社会文化体育館の場所とは関係ないと考えている。

**平野** 社会文化体育館利用者客などが、伝建地区を散策し、嬉野温泉宿泊利用の相乗効果については、期待しないか。

**市長** 伝建地区のポスターなど計画し、旅行代理店にも依頼をし、温泉と伝建地区散策を組み合わせた企画を考えている

**平野** 塩田町の伝建地区と社会文化体育館、嬉野町で建設中の区画整備事業と



▲相乗効果が期待される「塩田津」伝建地区

### 企業誘致と 回塊の世代

**市長** 今言われた件については、当然連携しているとは思っている。

**平野** 塩田町民の大半が社会文化体育館の場所について、署名を通じて提案されたらどうするのか。

**市長** 委員会ですら十分検討し、答申していただくと思うが、この問題は旧町民課題であるので、市民の方の意見をいただいて適切に処理し、議会に提案していきたいと考える。

**平野** この問題については、何回もお願いしてきた。積極的に取り組め。

**市長** 適地を決定したあと、周辺の理解に努力していく。

回塊の世代の出身者のアンケートでは2割の帰省希望者がおられるので、帰還定住をお願いしたい。

### 問 市長答弁について

織田 菊男 議員

### 答 肯定的に答えている



**織田** 質問に合った具体的な答弁をお願いする。

**市長** 答弁は意見に対し真摯にうけとめるべきとの基本的な立場をふまえ、否定的でなく肯定的に受け止める努力をしている。

**織田** 市長は委員会や審議会を多くつくっておられるが、どのような形で生かされるのか。

**市長** 議会に出す前の施策としてまとめる以前の段階、予算をつけてからの実行する段階があると考えている。

審議会は市民の方の参加が主なもので直接意見

ながら、適地候補に上げてもらい、県と連携して進出の準備を進めていき、できる限り開発経費を抑えながら早期に決定していくことを目指して、県とともに努力してまいりたい。

### 他の質問

・平成十九年度嬉野市当初予算について



▲拡張すむ進出企業 ハヤテレ九州 (久間工業団地)

を聞き、市民の総意を聞く事のできる1つの組織と考えている。

**織田** 市長は以前特別職は任期限りと言われたがどのような事か。

**市長** 常勤の特別職と考えている。

今回は合併という特別な要件もあったが、町長の時より任期満了で交代をお願いしてきた。

これは任命権者としての1つの基準と考えているもので、条件などで決定しているものではない。

### 観光について

**織田** 温泉以外で利用されている観光資源、今後考えられていることは。

**市長** 現在、夢街道・肥前吉田焼窯元会館・みゆき公園スポーツ施設など



▲伝統鍋野手漉和紙の工房

今後は、春日溪谷・唐泉山・虚空蔵山などの里山歩き、グリーンツーリズムなどの体験型観光、合併による、志田焼の里・伝統的建造物群・鍋野和紙など加わったので、総合パンフレットなど整備して嬉野全体を売り込まなければならぬ。

加えて、有田・ハウステンボス・吉野ヶ里、長崎との連携が今以上に必要と考える。

県と連携しながら広域的に観光を売り込む。

**織田** 旅館・ホテルの経営が厳しい所があると聞いているがどのような対応がされているのか。

**市長** ホテル・旅館は平成8年に53件、現在41件になっている。

常時担当課が連携をとりながら動いている。今後は人に優しい観光地、健康と保養という新しい取り組みを拡大考えをもっている。

やはり伝統的な情緒を生かしながらいく。



### 問 NPO(福祉分野)に支援を

神近 勝彦 議員

### 答 前向きに検討したい



税の減免規定は現在ないが、他県の自治体で取り組んでいるところもあると聞いているので、前向きに検討していきたい。

### 塩田中学校と文化体育館

【神近】市の財政支出の35%近くは福祉関係で、国からの交付金とほぼ同額と考えてよい。

【神近】今年度耐震診断が実施されたが、県からの回答はまだである。

年々増加しつつある高齢者の医療費を抑制するためには、市民のみならずで設立された、NPO法人による宅老老所の存在は不可欠である。

【市長】市税の減免、水道料や下水道料の減免で、支援することができないか。

【市長】耐震診断の結果によるが、補強費用が多額になれば建て替える議論



▲和気あいの草の里(真上吉田)

【市長】全国大会になるとサブの体育館の場所が課題となっている。

【神近】子ども達の安全を考え中学校を移転すれば、現在の場所は空地になる。

【市長】現在の中学校に体育館を造れば、移転した中学校、高校の体育館がサブ会場になる。

### 問 公用車は最低価格の車ではよいのでは

川原 等 議員

### 答 利用目的によって車種を選定している



【川原】平成18年度、飼育犬の登録と予防注射の接続状況は。

【市長】市内で1865頭、注射した犬は1143頭で接種率は61.3%である。

この病原菌が日本に侵入しないとはいきれない。予防注射がなぜ必要か分かりやすい広報をすべきである。

【市長】必要以上に付属品(オプション)を要求していないか。

【川原】濃色ガラス(スモークガラス)がなぜ必要か。

【市長】同じ料金でできるかどうか検討する。

【川原】嬉野市は2学期制を取り入れているが県内の実施状況は。

【川原】セブン・イレブンから樋口病院までの歩道整備は。

【市長】県と協議をしており早期に着工できるように再度お願いする。

【川原】現在工事中の通学路は新学期に間に合うか。

### 問 消防団定数、部の見直しが必要と思うが

副島 孝裕 議員

### 答 地域の連携に濃淡がでないように協議をしていく



【副島】塩田地区は、以前から部の統合が組織化されておき、嬉野地区は、一行政区一消防部の基本組織があり、世帯数の減少や高齢化にともない、部の定数及び部の編成の見直しが必要と思われるが。

【副島】塩田地区は、以前から部の統合が組織化されておき、嬉野地区は、一行政区一消防部の基本組織があり、世帯数の減少や高齢化にともない、部の定数及び部の編成の見直しが必要と思われるが。

【市長】機会をとらえて消防団の現状の報告と、将来性について御意見を承っていききたい。



▲真新しい活動服・新入団員

【副島】市内には、窯元、陶土製業、生地製業及び流通業など一連の陶磁器産業があり、極めて厳しい環境の中で、それぞれ後継者が育っているが、市独自の厚い窯業振興策はないか。

【市長】それぞれ技術を持った後継者が育っており、市でできること、また、県と連携しながらできることなど、十分情報を交換しながら対応していきたい。



▲民間企業と同じ装備ではいけないのか?



### 問 合併の目的は

園田 浩之 議員

### 答 財政の維持と行政サービスの低下を来たさない



**園田** 合併の目的は、まず支出削減で支出の最大のもの、官も民も問わず人件費だろうと考える。特に格差社会真つただ中の地方で年収が600万円も700万円もする人間をフルに活用する組織づくりで、ダブつてい



▲要望が生かされているのか？パソコン教室の機材

る組織、役職は一つに減らす。ほとんどの市民が必要となる市民税務の窓口。体の不自由な方も来られる福祉や保健関係の窓口、この二つの窓口は塩田町、嬉野町に問わず、双方に絶対必要な窓口だ。双方に一つずつ課がある総合支所方式を今後改める考えがあるか。

**市長** 当分継続していくが、総合支所方式の中で効率化できるものについては、できる限り効率化、

Slim化をしていきたい。**園田** 伊万里市は10数年前からIT専門の部署がある。OA商社が言うがままに、湯水のように大金をばらまいていい時代ではもうない。中学校のパソコンリース料の総額が91台で35、610、750円と聞いた。1台当たり391、327円に当たる。こういう契約はどういう手順で決まるか。**市長** 学校現場の方で選

Slim化をしていきたい。**園田** 伊万里市は10数年前からIT専門の部署がある。OA商社が言うがままに、湯水のように大金をばらまいていい時代ではもうない。中学校のパソコンリース料の総額が91台で35、610、750円と聞いた。1台当たり391、327円に当たる。こういう契約はどういう手順で決まるか。**市長** 学校現場の方で選

Slim化をしていきたい。**園田** 伊万里市は10数年前からIT専門の部署がある。OA商社が言うがままに、湯水のように大金をばらまいていい時代ではもうない。中学校のパソコンリース料の総額が91台で35、610、750円と聞いた。1台当たり391、327円に当たる。こういう契約はどういう手順で決まるか。**市長** 学校現場の方で選

Slim化をしていきたい。**園田** 伊万里市は10数年前からIT専門の部署がある。OA商社が言うがままに、湯水のように大金をばらまいていい時代ではもうない。中学校のパソコンリース料の総額が91台で35、610、750円と聞いた。1台当たり391、327円に当たる。こういう契約はどういう手順で決まるか。**市長** 学校現場の方で選



**梶原** 嬉野市における妊産婦検診の状況、また昨年度の出産数は。**市民生活部長** 出産数は16年度が245人で17年度が227人となっている。昭和53年頃から2回の無料検診を行っている。**梶原** 今回の少子化対策事業費の拡充を使って妊産婦無料検診の回数を増やすべきだ。最低でも5回以上できたらすべてを無料にするくらいの対策が必要と思う。

**市長** 国の通達が少し遅かったので今回の予算には間に合わなかったが、これから検討していく。**梶原** 自治体など公的な窓口には視覚障害者のための活字読み上げ装置を導入を求めろ。**梶原** 自治体など公的な窓口には視覚障害者のための活字読み上げ装置を導入を求めろ。



▲より安全なご出産を...

### 問 妊産婦無料検診を5回以上に

梶原 睦也 議員

### 答 これから検討していく。

行われる。嬉野市の視覚障害者数は。**福祉部長** 平成18年3月31日現在で障害の等級が、1級から6級まで合わせて172名だ。**梶原** 視覚障害者の情報環境と言うのは、現在、点字や音声テープなど、限られた情報しか提供されてない。特に誰もがよく知っている点字については10程度の利用しかない。今回、国の18年度補正予算で活字読み上げ装置導入費を全額補助されることになった。嬉野市も導入すべきだと思うが。

行われる。嬉野市の視覚障害者数は。**福祉部長** 平成18年3月31日現在で障害の等級が、1級から6級まで合わせて172名だ。**梶原** 視覚障害者の情報環境と言うのは、現在、点字や音声テープなど、限られた情報しか提供されてない。特に誰もがよく知っている点字については10程度の利用しかない。今回、国の18年度補正予算で活字読み上げ装置導入費を全額補助されることになった。嬉野市も導入すべきだと思うが。

いをめどに取り組んで参りたい。

### 全小中学校に特別支援教育支援員の配置を求める

**教育長** 新年度の学級編成を踏まえた上で学校への需要調査を行っている。現場の実情や必要性を十分に把握した上で予算要求をお願いし6月ぐら

いをめどに取り組んで参りたい。

### その他の質問

・市有地中央の商店の将来に向けての展開  
・観光問題

話したつもりだが理解していただけてなくて残念だ。

今後、嬉野市の中にそういうIT専門部署を設置する考えがあるか。**市長** ITに限らず、保健福祉、建設、すべて専門家がいます。積算の基準というのもあり、議員の発言は積算の基準のとり方がおかしい。**園田** 100歩譲ってお

**市長** 視覚障害者の方に對してバリアフリーになると期待している。導入について検討して参りたい。設置の費用については、臨時特例交付金として県に約9億円が回って来ると予想されるので、要望して参りたい。

### 問 作業林道つくり職員研修を

山口 榮一 議員

### 答 組織内で研修をしたい



**山口** 国では今年度から6年間で330万本の森の間伐を行う事が決められた。それには林道、又は作業林道が必要である。

先月高知県四万十町の新しい方式でつくられている作業林道の現場を見てきたが、1畝当たり300坪から400坪の作業林道がつくられていた。2ト車が通れる程度の道が、1畝当たりの開設費用1000円から1500円位で開設されている。この林道つくりは雨

水をどう逃がし、林道が崩れないようにするかがポイントだと感じた。厳しくなる財政状況の中、経費の掛からない道つくりをしなければならぬので、ぜひ職員の研修をするべきである。**市長** 旧藤津郡1市3町で形成されている林政協議会の組織内で研修をしたいと思う。

から手入れ出来ないようだったなら、植えるべきでないと思うが、対策をどうするか。**市長** 桜の「てんぐ巢病」については大変苦慮している。造園関係の方にお願ひし、対応しなければ防ぐことができない。今後計画を立てて行っていく。

桜の「てんぐ巢病」対策をどうするか。**山口** 桜のソメイヨシノにいたる所「てんぐ巢病」が出ている。花は綺麗だが、病気がかりやすいし、大気汚染や環境悪化に弱い。厳しい財政の中、これ

ソメイヨシノは昔からある桜ではなく、つくられた桜だと言われており、体力がなく、被害が大きいのではないかと考えている。今後植栽するについて、いろんなことを考慮しながらやっていかなければと思っている。



▲安くて丈夫な作業林道(高知県四万十町)

### 福祉有償運送業の広報は

**山口** 福祉有償運送業について広報すべきだと思いが。**福祉部長** 市内では3業者で実施されている。対象者の方には当然説

明するが、一般的な広報については今後検討する。



### 問 浄水場の原水をダムの上流から取水を

田中 政司 議員

### 答 県と議論していく



られる。

**田中** 嬉野地区の水道事業においては、現在4箇所の浄水場より約6000戸の世帯へ1日平均約7500トが供給されている。

その中で、岩屋川内ダムより取水している清水浄水場と、横竹ダムより取水している岩ノ下浄水場がメインの浄水場である。

近年、全国的にダムや湖で夏場に「アオコ」の発生が見られ、問題となっているが、岩屋川内ダムにおいても、数年前より夏場になると発生が見

清水浄水場においては、活性炭を利用して、アオコの除去をおこなっているが、今後の水道事業において、「安全で安心な水道水」を考えた場合、薬品で処理することより、現在おこなっているダムより下流の取水を、ダムへ流入する上流側で取水すれば、アオコなどの混入はなく、原水の水質は格段に向上するし、薬品量も抑えられると考えるが。

**市長** 現在、炭素などを利用して浄化している。24時間監視体制で安全で安心な水道水が供給できている。

当面は、現在の浄水方式で問題ないと考えている。しかし、今後はそう

いうことも考慮しておかなければならないと考えている。

以前、県と協議したこともある、ダムに流入す

る水量が確保できれば可能性はあるとのことであった、引き続き県と議論していく。



▲平成17年の「アオコ」発生状況（岩屋川内ダム）

### 「朝ごはん条例」の制定を

**田中** 全国の自治体をはじめ、今回伊万里市でも条例制定に向けた取り組みがおこなわれている。取り進む計画は。

**市長** 県でも食育基本の条例を作って推進しようとしている。

朝ごはん条例をそっくりそのままとはいかないと思うが、担当課と協議していきたい。

### 温泉集中管理計画の現状は

**市長** 嬉野市の宝として永遠に保全されなければならぬ。現在のところ水位は安定している。

水位が安定している今こそ集中管理の計画を進展させるよう努力する。

### 問 茶業研修所は

太田 重喜 議員



### 答 上岩屋につくり、機械メーカーや使用料は未定

観光施設としてのことも見込み、最初の取り組みとして20㍓を予定、管理者は茶業振興室を充実し、直営でおこないたい。

**太田** ランニングコスト、管理の面で他の場所が良いのでは。

**市長** 将来総合的な施設整備を、年次を決めて行いたい。

ランニングコストは、茶業振興室の経費的な形になっていく。

**太田** 最近の全国品評会への出品点数と、利用料金は。

**産業振興部長** 蒸製玉緑茶で14点、釜炒製玉緑茶で9点、加工の利用料金、使用料などは検討していない。

**太田** 製茶機械のメーカーと形式は。

**市長** メーカーはまだ決定していない。

**太田** 製茶機のメーカーや型式、使用料金、利用見込者もわからずに、よく議案提起が……

### リーフ茶の消費拡大のために

**太田** ペットボトル茶の

▲昭和2年に高取伊好翁の寄金でできた県茶業試験場



普及により、茶葉いわゆるリーフの消費が減っている。茶の生産、販売者にとって、ペットボトル茶の消費拡大はマイナス面しかない。

市内での会合の席でもペットボトルの茶が出されている。

もてなしの心を表すことができない。

市内の公共施設の湯沸し場は狭く、20人以上の会合では不便である。

**市長** リーフ茶の利用拡大は同感である。肥前吉田焼も急須、土瓶の産地として全国に知られている。

「急須のある家庭を」

が保障されるかなど、課題も多く、入札スケジュール、完工検査など抜本的に検討したい。

地域の業者育成は大切なことであり現在も市内でできることは原則市内を基本としている。

**山田** 競争の激化により地元業者が倒産しないか懸念もする。

市内業者への説明は今後行うのか。

**市長** 現在、国、県の動きを見ている段階で、外部への説明はできていない、担当部署で研究をし

のキャンペーンをしたい。

**太田** 公共施設の湯沸かし場、洗い場、茶器、茶ガラの処理などについて検討するか。

**市長** 一応点検はしてみたい。

### その他の質問

- ・ 獣被害対策
- ・ 大木の保護
- ・ 学校給食費未納

ている。

**山田** 政令指定都市は、1千万円以上の工事が一般入札の導入となるが、本市について思案はないのか。

**市長** 市が自主的に決定することは理解しているが正式に答えられる段階ではない。

### その他の質問

- ・ 嘱託臨時職員の問題
- ・ 地域エネルギービジョンについて
- ・ 教育問題について

### 問 政治倫理条例の制定を急げ

山田伊佐男 議員



### 答 制定に向けて努力したい

**山田** 地方において官製談合事件・裏金問題、収賄事件など多くの不祥事が露呈している。

地方自治への不安、疑念は渦巻き、政治に携わる者に対する信頼は低下している。

政治に取り組む姿勢と決意を込め、市長・助

役・教育長を対象とした政治倫理条例を先行して制定する考えはないか。

**市長** 以前の議会でも必要だと答弁している。議会の皆様が自主的に考え制定に向けて努力していたらどうかと考えており、しばらく考慮したい。

**山田** 全面的にトップの不祥事が多発している。市長は公正としての正義を政治理念とされている。

これからの襟を正し政治に取り組む市政を市民に明らかにする意味でも先行して制定できないか再度お尋ねしたい。

**市長** 倫理条例以上に、法的に厳しい規制があり法令遵守を徹底して行う必要がある。

条例制定は以前から検討しており制定に向けて努力していく。

**山田** 公共工事の入札をめぐる全国的に問題が改正されるが、入札制度の見直しと業者育成の対応は。

**市長** 原則一般競争入札への導入を提案している。書類審査や確実な施工



▲政治倫理の確立が求められる議会



### 問 減少する人口に対する対策は

野副 道夫 議員

### 答 保健、福祉、教育施策に努める



**野副** 合併後1年間に、355人が減少している。農業の活性化を推進し後継者が残れる基盤づくりが必要だ。  
**市長** 地域を支える農業の活性化による、定住対策も必要と考えている。  
**野副** 当市の農業形態は、

水田農業と、茶業を柱に推進されている。産物に付加価値をつける研修なども、活性化の一翼を担うことになると思うが。  
**市長** 今後関係団体とも協議したい。  
**野副** 次に林業の問題であるが、森林は産物の創出のみならず、多面的な機能を有し、災害から国土を守っている。雇用促進の場ともなると思うが。  
**市長** 今回、安部内閣の目玉として「美しい森」づくりが決定された。国全体の方向が良い方向に向かっている。同じ施策で努力していく。  
**野副** 企業誘致については、全国津々浦々で進められているが、当市は進んでいるのか。  
**市長** 合併後の重要課題として、体制づくりに対応してきた。  
**野副** 非常に難しい面もあるが、市の存亡をかけて企業誘致に取り組むべきだ。

### 東京事務所の設置を検討してどうか。

**助役** 東京事務所については今後検討したい。  
**野副** 定住人口の増加対策として、団塊世代の方に魅力を感じてもらえるまちづくりが、これから求められているのではないかと。  
**市長** 健康を柱とした政策を成功させることにより魅力を感じてもらえるものと思う。

### 地域ぐるみの子育てについて出前講座の開催は

**野副** 以前にも増して地域が一体となって、子どもの安全を確保する必要はある。出前講座の対話集会を実施し、学校教育課を含む、学校と地域が一体となる取り組みは考えられないか。  
**教育長** 私も同じ考えを持っており、出前講座的にやる方も、非常に今の時期に適したことはないかと思う。



▲転入よりも転出が目立つ窓口

### 問 育児や虐待相談の総合窓口が必要ではないか

芦塚 典子 議員



**芦塚** 児童虐待、育児や発達障害などの相談が計82件(9ヶ月)おきている。対応はどのように。  
**福祉部長** 児童虐待防止協議会(13の機関)と家庭相談員が主体になって問題解決に努めている。  
**芦塚** ひとり親家庭への支援は。  
**福祉部長** 母子自立支援員が生活面の扶助、母子福祉資金の貸し出し、就職等の斡旋など自立できる家庭環境になるまで対応している。



▲楽しい子ども事業…市から民間へ移行

### 問 新幹線・嬉野市の負担は

西村 信夫 議員

### 答 嬉野駅建設で10億円



**西村** 九州新幹線西九州ルート。現状の分析と今後の見直しは。  
**市長** 県民の理解を求める活動を県と歩調を合わせ実現に努力をする。  
**西村** 冬柴国交相が着工基準は変えない「沿線自治体の同意が必要」との見解を示したが、市長は。  
**市長** 特に変更はなく、新幹線の理解を得られるよう努力したい。  
**西村** 新幹線駅整備後の嬉野市の町づくりは。  
**市長** 駅から歩いて行ける温泉地としてのメリツトを打ち出し関西・中国

地方へのPRを拡大し、交流人口の増加を図る。  
**西村** 新幹線鹿児島ルート「新八代駅」の八代市役所を視察。新八代駅建設で財政負担は30億円で新幹線効果はない。  
**市長** 嬉野駅整備で財政負担は。

また、嬉野・塩田は新幹線の認識について温度差があり、市民レベルで学集いすべきである。  
**市長** 新幹線駅整備で10億円程度かかり、周辺整備は別である。また、学習会を開催したい。

### 集落排水事業について

**西村** 谷所地区19年度事業計画を具体的に。  
**市長** 五町田地区の測量と建設用地取得、浄化セ



▲JR長崎本線、学生や市民の足になっている

### 環境対策事業について

**西村** 合併前1年、嬉野市環境基本計画策定は。また、生活環境を保全

### 新教育長の教育行政について

**西村** 小中学校と「うれしの特別学校」との連携・交流を図るべき。  
**教育長** 周辺には学校や福祉施設があり、支援学校と交流を図りたい。

### 健診時に赤ちゃんと絵本を

**芦塚** 3ヶ月健診時に赤ちゃんに絵本を始める「ブックスタート」の取り組みはどのように。  
**市長** 取り組むよう研究したい。  
**芦塚** 子どもの居場所づくり事業で、講師料の支払額の変更や遅滞、前日に食材費の変更とかあるがなぜか。  
**社会教育課長** 国の委託事業で遅配や行き違いもある。

**芦塚** 県の補助事業は(炎博、8割の補助金がすぐ振り込まれ事務処理が早い。当局のCSO支援、NPO支援はどこにあるか。  
**社会教育課長** 手続き上の問題で、事務の遅滞が発生していると思う。  
**芦塚** 国は今年度から子どもの放課後事業に力を入れていて。  
学習支援や教材の充実と地域、行政、教育関係

の支援を強化する政策である。  
改善が図られない当市の社会教育課は民営化して指定管理制度にしてほしい。  
**市長** いろんな形で組織的に検討していきたい。  
**芦塚** 児童虐待、育児相談、DV相談が増加している。  
総合窓口やホットラインが必要でないか。  
**市長** 県など幅広く連携しながら対応したい。  
**芦塚** 特別支援教育の現状は。  
**教育長** 職員を増員で対応していきたい。  
**芦塚** LD・ADHD、自閉症など小学生55名、中学生18名であり、数名の支援員では対処できない。  
市単独で20名の加配(増員)はできないか。  
**教育長** 支援員が何名必要なのか調査している。早期対応が必要であるので検討し要求していく。



### 問 公会計制度による 情報開示は

田口 好秋 議員

### 答 未整備の部分は今後努力する



田口 年々厳しくなる財政状況のなか、財政の透明性を図り市民に状況を説明し理解を求めると、あわせて、財政の健全化に市職員が一丸となって取り組むよう指揮監督するのが市長の責務と考える。

田口 年々厳しくなる財政状況のなか、財政の透明性を図り市民に状況を説明し理解を求めると、あわせて、財政の健全化に市職員が一丸となって取り組むよう指揮監督するのが市長の責務と考える。

市長 合併後組織を作り県とも協議しながら、候補地の視察、研修などを進めてきた。

市長 合併後組織を作り県とも協議しながら、候補地の視察、研修などを進めてきた。



▲閑静な住宅地（のぞえ団地）

田口 労働人口の流出を止める手だてとして、企業誘致は有効と考えるが。

市長 合併後組織を作り県とも協議しながら、候補地の視察、研修などを進めてきた。

田口 今年度は候補地を選定して条件整備を行い、関連する法的整備を進める。

市長 旧塩田町のために久間の団地で成功している事は、一つの政策としては認める。

市長 旧塩田町のために久間の団地で成功している事は、一つの政策としては認める。

機会があれば取組みたいが、少子化のなかで公的な投資をどこまでするか、判断は難しい。将来を見据えた計画は作っていく必要がある。

### その他の質問

・有害鳥獣（イノシシ）駆除について

### 問 入湯税の用途は観光振興に 適正になされているか

秋月 留美子 議員

### 答 現行のままの運営を望む



小泉内閣のとき入湯税廃止の議論があり、私は存続の発言をしてきた。しかし、一般的には見直しの議論が残っている。入湯税は毎年変化があるが、大体8000万円程度でその50%を泉源保護、観光振興に使っている。出来る限り幅広く利用するのが適切と考える。

秋月 観光地は温泉があるところばかりではない。唐津市など観光に力を入れているが、温泉のある旅館は少ない。それでも観光地として消防関係、環境とか変わらなず税金を使わなくてはならない。

嬉野市は全国でも10指に入る程、入湯税の額が大きい。観光業界は非常に厳しい現状である。ほかの温泉地でも思うように入湯税が観光振興

秋月 昨年、全国旅館生活衛生同業連合会の中央環境審議会で「入湯税の収入を温泉保護や観光振興策の推進に重点的に活用されることを望む」と明記された。入湯税の用途が、観光関係の方が望む形で適

市長 本年度より準備しており、おおよそ準備ができた。ヤフージャパンのシステムを利用しておこなう。今回、手数料等の予算をお願している。

小田 いろいろをめぐりに開始できるのか。

支所市民税務課長 新年度の予算承認されれば、すぐにでもヤフーとの契約可能な状態である。

小田 自動車は中古の流通が盛んな物件でオークション公売では高く取引されている。

財政課長 非常に有効な仕組みと思うので、研究をしてみたい。

小田 唐津市では「唐津・呼子イカ検定」が開催され、マスコミにも大々

に使われないような配分だったら、入湯税をなくしてもよいという傾向になっている。

入湯税は市で決められる目的税だから入湯税の半分を入湯料として観光協会に渡し、観光振興に重点的に使うようにしている。

市長 税の用途については、行政の課題を解決すべく予算組みをしている。観光関係に投入している予算については、出来る限り配慮をしている。

### 歴史の伝承と観光

志田焼の里、嬉野温泉地、不動山キリシタンの観光ボランティアガイド、マップの作成が進められている。両町には貴重な史実や史跡が数多く残されている。不動山キリシタン史跡では、案内板の書き換えと案内標識など早急な整備と補修が必要でありまた、釜炒り茶や茶染めなど焼き物体験同様、体験型観光に加えてほしい。

市長 史跡の点検とPRをおこなっていく。



▲毎年好評の桜ウォークラリー

的に取り上げられた。

本市でもお茶検定や温泉検定、湯豆腐検定などを行い「嬉野」をアピールできないか。

市長 私も嬉野でできないかと考えており、観光協会の会長も実施への研究をしたいという意向であった。

観光協会が主催しているだけで協力をとおこなっていく。

小田 嬉野温泉・嬉野茶・大茶樹・塩田津・志田焼の里博物館などの写

真を印刷した名刺の台紙を、希望する市民に広報などで呼びかけて無料で配布して利用していただけると嬉野の宣伝に効果があると思うが。

市長 「のほんマーク」で統一をしているので、台紙は用意している。希望があれば利用いただいている。



▲更新される走行わずかな消防搬送車の価値は？

### 問 インターネット公売を 実施せよ

小田 寛之 議員

### 答 次年度から実施する



市長 今年度は候補地を選定して条件整備を行い、関連する法的整備を進める。

市長 合併後組織を作り県とも協議しながら、候補地の視察、研修などを進めてきた。

市長 合併後組織を作り県とも協議しながら、候補地の視察、研修などを進めてきた。

市長 合併後組織を作り県とも協議しながら、候補地の視察、研修などを進めてきた。



熊本県八代市へ

# 新幹線を活用した まちづくり計画を

総務企画委員会

平成19年2月15日、熊本県八代市を調査した。八代市は平成16年3月九州新幹線の一部（新八代から鹿児島中央）区間が開業され、新幹線が九州におよぼす影響は大であることは、マスコミ等で報道されているとおりである。

### 委員会の意見

開業1年目では、予想していた250万人を上回る323万人、2年目は336万人の利用客があつている。

八代市では、まちづくり計画が開業に遅れを取って、十分なPRができなかったことが悔やまれるということであつた。

いずれ本市においても新幹線が開業されることになると思われるので、新幹線を活用した、まちづくり計画を策定し、開業前には十分なPRができるようにしておく必要がある。

特に八代市と異なる点は既存の駅を考へることなく、新設されることに期待が持てる。

主体的には観光面重視になると思われるが、このことばかりに囚われずトータルとして考えて行く必要がある。温泉だけに頼ることなく、あらゆる資源の掘り起こしにも着手されることも合わせて提言しておく。



▲新幹線開通後のまちづくりを学ぶ

# 議会は動く 委員会レポート

福岡県八女市へ

## 核となるか 茶業研修センター

産業建設委員会

産業建設常任委員会は去る2月14日、八女市上陽町の上陽地区茶業研修施設の現地視察・調査をおこなつた。

この施設は、平成14年に建設された。

建設の目的は、茶栽培技術や加工技術の向上のための研修を徹底し、生産者間の品質格差を無くし、品質の高い茶産地を確立することにより、魅力ある農業経営実践を目指しておられた。

この施設を建設したことにより、出品茶の品質が均一化され、また、丁寧な仕上げができるようになり、各種品評会において上位を独占するなどの効果が現れてきているとのことであつた。

運営に関しては、平成18年度の7月より指定管理者制度を導入され、年

間の利用料が500万円ほどの収入があり、自立した経営をされている。

### 委員会の意見

嬉野市でも、リーディング事業で平成20年度の稼働に向けて茶業研修センターの建設計画が進められている。

嬉野市の特産品である「うれしの茶」をとりまく状況は、近年大変厳しい状況にあり、特に地域ブランド化は必須の条件となつている。

品質のバラツキがなく安定した商品を提供できる技術の向上と、品評会でも常に上位入賞できる体制づくりを目指すと共に、上陽地区で実施されている指定管理者による収支バランスの取れた経営を望む。



▲上陽地区茶業研修施設

文教厚生委員会

## 赤字経営の 健全化が必要

### 市内・武雄市

嬉野・塩田町の水道事業統一は、大きな課題のひとつである。

水道審議会も開催されるなかで、所管として水道事業の現状と将来計画や方向性を調査した。

### 両事業の現状

嬉野町水道事業は、平

成17年度の単年度経常収支は、1億2143万円の赤字である。

要因は平成15年度から借金返済がピークを迎えているからである。

塩田町水道事業は、一般的な家庭が毎月使用する水量20トあたりの料金は5880円で県下2番目の高料金である。

また、一日約2000トが使用できていない状況にある。

### 委員会の意見

嬉野町水道事業は、施設の老朽化を見据えた改修計画の費用算出を早期に作成すべきだ。

また、健全経営のためには、料金改正は必要だが、市民に十分な説明をおこなうことが大事だ。

塩田町水道事業は、余剰水利用計画と高額料金の見直しが必要だが、両事業の統一と連携することで、水道審議会の今後の協議が早期に進められることを望む。



▲厳しい水道事業経営を学ぶ